

自己評価		
学校運営計画(4月)		評価
学校運営方針	校訓「生きる希望 学ぶ喜び」にあふれた生徒を育成する。 また「独立・自主の精神を育成する」「敬愛・協力の学園を創造する」「報恩・感謝の態度を育成する」の3条を教育方針とする。	
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標
【成果】 1 観点別評価やICT活用による授業改善 2 生徒支援体制の充実による安心・安全な教育環境実現 3 学校行事や部活動を通じた自己指導能力の育成 4 広報活動の充実 【課題】 1 観点別評価の充実や授業改善による学力伸長 2 主体性や自立心を育む取組の充実 3 教育活動全般におけるICT活用の推進 4 探究活動や筑前レクチュール活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成	基礎学力及び思考力・判断力・表現力の向上	・Google Classroom、スタディサプリ、ICT機器等の活用による学習の効率化 ・主体的・対話的な授業の充実 ・思考力・判断力・表現力を養う授業および「筑前レクチュール活動」等の学校独自の取り組みの充実 ・高校生のための学びの基礎診断や外部模試等の客観的データ分析に基づいた「学習のPDCA」の確立
	人間関係形成・社会形成能力の育成	・部活動や学校行事・生徒会活動等の活性化により、体験を通して生徒の自己肯定感を高めるとともに、人間関係形成・社会形成能力を育成する。 ・多様な他者との協力や協働を通じ、キャリア形成に必要な自己理解を深め、自己管理能力を高める。 注：人間関係形成・社会形成能力とは、多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれた状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力
	教員の指導力、教職員の連携の強化	・校内外の研修や自己研鑽により、教科指導力の向上に努め、観点別評価の多様な手法を研究し実践する。 ・教師自身が人権感覚を研ぎ澄まし、いじめを絶対にゆるさない雰囲気を醸成する。 ・教育力向上のためにはチームワークが必須であることを共通認識とし、分掌・学年等の枠を越えた連携を深める。

学校関係者評価	
評価	自己評価は
	A : 適切である B : 概ね適切である C : やや適切である D : 不適切である
A	A

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題		
教務課	授業の充実	電子黒板、タブレット端末を利用したアクティブ・ラーニングの導入 スタディサプリ、授業動画配信などオンラインを活用した学習環境充実 授業アンケートを活用した授業改善	A	A	・一人一台タブレットを有効に活用した授業の充実 ・観点別評価の充実 ・面談週間、アンケートなどを活用した生徒支援の強化		
	観点別評価による評価の充実	定期考査における思考力・判断力・表現力をはかる問題の充実 主体的に学習に取り組む態度を評価する多様な取り組みの導入 三観点のバランスのよい評価によって生徒の様々な能力を評価する	B				
	生徒の基本的な生活習慣の確立	学校・家庭の連携を強化しチームで生徒を支援する	B	B			
	カリキュラムマネジメント推進課	総合的な探究の時間(CSDs)の円滑な実施	3年間を見通した探究活動を実践し、学校・学年全体で最終目標を共有できる組織作りを行う。	A		A	
企画広報課	AL、ICTを活用した授業改善の促進	スタディサプリや電子黒板の活用、オンライン授業等、学習環境の変化に対応できる教材の作成を促し、教科ごとにデータベースを作る。	B	B	・活動内容の充実化 ・明確で効率的な活動の説明と提示 ・データベースを活用した教科における授業改善		
	広報活動の充実と強化	全職員での積極的な広報活動の展開とアピールポイントの共有 学校ホームページの更新頻度を上げる。	A	A	・各課・学年によるHP更新体制の確立 ・年間を見通した中学校・塾訪問の計画と実施 ・後継者の育成		
	式典等の円滑な運営	関係部署との連携を強化。早めの計画・立案と準備、振り返りのサイクルを確立	A	A			
底務の円滑化	PTA・同窓会との連絡・調整の円滑化	B	B				
図書課	言語活動の充実と資する「筑前レクチュール」活動の推進	朝読書の時間に本の感想などを書いたり、話したりする活動を朝読書月間活動として導入 ビブリオバトルの新しい開催形式にチャレンジする(例/テーマ設定型/多様な参加者の募集[他校、大学生等]) 2年生の図書委員等を対象に編集工学を応用した「探究型読書」の体験的ワークショップを実施	C	B	・筑前レクチュール活動における朝読書の徹底と朝読書月間活動(本の感想を書く、述べる等)の実施 ・「探究型読書」の理念に基づく体験的活動の実施(1, 2年生対象) ・福岡地区図書館協議会、及びそれに関する事前打ち合わせ等の円滑な業務遂行(R5年度は本校が事務局校)		
	図書館の情報センターとしての機能の充実と図書委員会活動の充実	適正かつ計画的な図書を選定・購入。小論文・探究型読書に役立つ図書の重点整備。 図書委員会活動として、本との出会いを創出する様々なイベント(読書会、ビブリオバトル等)の開催 来年度、本校が福岡地区図書館協議会事務局校となるため、本校図書委員の事前研修を現事務局校(修猷館)で実施 1年生対象の図書館オリエンテーションを筑前レクチュール活動の一環として実施	A				
	芸術・文化活動の振興	演劇鑑賞の実施「～地雷探知犬NEENA ニーナ」10月25日(火)実施予定	A	A			
	生徒課	社会性、道徳性を身につけた生徒の育成	教師自身が人権感覚を研ぎ澄まし、いじめを絶対に許さない雰囲気の醸成 「学校生活アンケート」の活用と生徒観察による情報共有 登下校時の通学マナーの徹底による道徳性の涵養	B		B	・いじめを許さない雰囲気の醸成と理解力・共感力の啓発 ・部活動体験の計画的実施と、新入生の部活動に対する積極性の涵養 ・通学マナーの啓発と道徳性の涵養、交通安全教室、自転車安全点検、登下校指導を通じた事故の防止
		人間関係形成・社会形成能力の育成	積極的な生徒会執行部への加入呼びかけを実施 筑前祭、体育祭、予餞会、クラスマッチ等の各行事の工夫・改善しリーダーを育成する 部活動の加入率を向上させ、人間育成を図る	A			
自己管理能力、緊急時の対応能力の育成		交通安全教室、自転車安全点検、登下校指導を通じた事故の防止 情報モラルに関する講演会等を行い自分で自分を守る能力を育てる	B				
保健課	健康教育の推進	基本的な感染症対策の徹底 自主的・主体的に健康の保持増進を行うことができる資質・能力の育成	A	A	・生徒の健康管理能力の育成 ・感染症対策の徹底 ・生徒支援体制の強化・充実		
	生徒支援体制の充実	緊急時における迅速な初期対応の徹底	A				
		支援が必要な生徒・保護者の個別相談や組織的な対応の充実による適切な支援の実施	B				

項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
A	引き続きICTを活用した授業の充実を図ってほしい。
A	能動的学習習慣確立に向けた取組を期待する。
A	志願者増につながる取組を期待する。
A	ビブリオバトルを引き続き積極的に行い、新たな筑前高校の魅力として発展させてほしい。
B	交通マナーや情報モラルの指導を工夫し、生徒指導の充実をお願いしたい。
A	引き続き、生徒の様子への目配りをお願いしたい。

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題
環境課	校内環境の整備と美化意識の向上	教員に向けて掃除重点ポイントの説明、植栽計画など和やかな雰囲気醸成	B	B	・教員・生徒による清掃活動への積極的取り組み支援 ・生徒の美化意識・帰属意識やボランティア精神の育成
	環境を自分たちの力で整えていく力の育成	掃除時間の巡回、大掃除などの時間内でのワックス掛けを奨励	B		
	環境問題への取り組みの推進	美化委員会の意見を取り入れ可能な意見を取り入れる、美化コンクールの実施と表彰	B		
		分別・リサイクル活動の指導と徹底、啓発ポスターの掲示、清掃活動などのボランティアを行う地域貢献活動の実施	A		
キャリア形成課	生徒の進路実現に向けた、組織的・計画的な進路指導	各分掌と連携・協力した進路指導による学習と部活動の両立、及び総合的な探究の時間と進路指導との連携強化	A	A	・筑前《虹》プロジェクトの改善と発展・充実 ・業務内容及び効率的な業務分担の明確化 ・本校独自の進路行事のさらなる充実
	筑前《夢》プロジェクトを含む進路的行事の充実	オンライン講座配信サービスの積極的活用	B		
		外部模擬試験や共通テスト、入試結果等の分析を踏まえた指導の充実	A		
		筑前《夢》プロジェクトや社会人講演会をとした将来へのビジョン形成力の育成	A		
情報教育課	ICTを活用した教育の推進	ポートフォリオを積極的に活用したキャリアプランニング力の強化	B	A	・情報モラル・情報リテラシー教育の徹底 ・教員の個別スキルに応じた端末操作研修の実施 (ICT支援員への協力要請) ・他分掌との連携強化
	校務の情報化	総合型選抜・学校推薦型選抜に向けた小論文等指導の充実	A		
	情報モラル教育の推進	課外授業から完全希望講座制への円滑な移行と実施	A		
		生徒のニーズに応えるための講座内容の精選と充実、具体的な到達目標の設定	A		
研修課	「主体的・対話的で深い学び」に向けたアクティブラーニング型授業実施の取組み	授業におけるICT機器利用の促進	A	A	・タブレットを活用した研究授業の実施 ・教育課題に対応したタイムリーな職員研修の企画 ・校外研修等における教職員の資質・能力の向上
	校内職員研修の充実	ソフト・ハードの整備	B		
		学校ポータルサイトの積極的な活用	A		
		ペーパーレス化の推進	A		
1学年	基本的な生活習慣の確立	生徒を有害情報から守るための取り組み	B	B	・生徒による主体的な活動の促進とそのためのリーダーの育成 ・進路実現に向けた、主体的な学習時間の増加 ・人権同和教育や日常の指導による当事者意識の育成
	主体的な学習姿勢と進路意識の育成	アクティブラーニング・ICT活用を取り入れた研究授業の実施	A		
	協働意識の育成・向上	目的を明確化した気軽に参加できる相互授業参観の実施	A		
	人権意識の育成	授業アンケートのGoogleフォームでの実施	A		
2学年	自律と自立の養成	人権・同和教育、不祥事防止に関する効果的な職員研修の企画	A	A	・学校行事(筑前祭・クラスマッチ・体育祭)を通したリーダーの育成 ・進路実現に向けて、外部講師による講演等で教員・生徒双方の向上心の涵養 ・安心・安全な学校生活の創造による思いやりの育成
	自主的で主体的な学習態度の確立	教育課題に対応したタイムリーな研修の企画	A		
	高い志を持ち、将来の社会貢献への意識向上	校外研修・教育実習・インターンシップ、生徒海外交流の計画と実施	B		
	人権・道徳を考慮した生徒・保護者・教師間の信頼関係の構築	出席奨励指導、時間管理の指導の徹底	B		
3学年	自主性と主体性の涵養	当事者意識の涵養およびリーダーの育成	C	A	大学進学実績等、顕著な成果が上がっている。引き続き、学力向上に努めてほしい。
	進路実現に向けた学力向上	充実した授業の実践と発表、ディスカッション、プレゼン等を重視した言語活動の充実	A		
		キャリア教育の充実と適切な面談の実施	B		
		クラス、グループ、ペア活動の充実と適切な目標設定、および学校行事への積極的な参加	A		
事務部	老朽化が進む施設設備の管理	人権同和教育の充実と日常の声掛けの徹底	B	A	・創立43年を超過し、年々増加する不具合箇所への速やかな対応 ・光熱水費を初めとする物価の高騰に対する適切な予算の組換え及び業者選定
	予算の効果的・効率的な執行	基本的な生活習慣の確立(出席奨励指導、挨拶の励行、整理整頓、環境美化)	B		
		学習と部活動の両立(主体的、自発的な学習への取り組み)	A		

項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
B	清掃活動はきちんとされている。さらに意識向上を図ってほしい。
A	・進路指導の充実が中学生からの支持につながっている。 ・生徒に様々な選択肢を提示してさらなる進路指導の充実を図ってほしい。
A	ICTのメリットとデメリットをしっかりと理解できるよう指導を継続してほしい。
A	校内職員研修が充実していると感じる。
B	・リーダー育成に課題があるとのことなので、次年度に期待したい。 ・学校生活の入口段階で手厚い指導をお願いしたい。
A	2学年は非常に多忙な時期でもあるので担任を始め先生方のサポートをお願いしたい。
A	大学進学実績等、顕著な成果が上がっている。引き続き、学力向上に努めてほしい。
A	・不具合箇所迅速に対応できている。 ・限られた予算の効果的執行をお願いしたい。

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- ・ICT活用を一層進めながら、魅力的な授業を展開し、三要素バランスのとれた学力育成をめざす。
- ・4年度から始まった《虹》プロジェクト等の取組の充実を図り、生徒・保護者から信頼される進路指導を実践する。
- ・コロナ禍で縮小を余儀なくされた学校行事の復興を図り、活気ある学校生活の中で社会形成能力や人間関係形成能力を育成する。
- ・交通マナーや情報モラルの指導等をより実践的なものへと改善し、規範意識育成を図る。
- ・公開授業を新たに実施する等、保護者・地域との連携を強化し、「開かれた学校」づくりを進める。

評価項目以外のものに関する意見

AIやICTの進展で今後の職業観が根本的に変化することになる。生徒達がそのことを理解し、自ら進む道をしっかりと考えられる環境づくりをお願いしたい。